

令和4年度 事業報告書

大府福祉会基本理念

聴き、寄り添い、動く

私たちは、利用者・家族・地域などの「声」に耳を傾け、誰もが安心して暮らしていけるように、様々な福祉サービスを行います。そして、一人ひとりの想いに寄り添い、望む暮らしや生き方の実現に向けて必要な支援を行います。



社会福祉法人大府福祉会

法人事業一覧

□法人本部	〔組織〕 理事会 評議員会 評議員選任・解任委員会 苦情解決委員会 中長期総合計画策定推進委員会
＜施設支援事業＞	
◇あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業
◇東あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業 居室確保事業
◇ひだまり	生活介護事業 居室確保事業
◇あけびの実	就労継続支援B型事業
◇たくと大府	生活介護事業 日中一時支援事業 居室確保事業
＜児童発達支援事業＞	
◇大府市発達支援センターみのり	児童発達支援事業 保育所等訪問支援事業 特定相談支援事業 障害児相談支援事業
＜地域生活支援事業＞	
◇ホームヘルプセンター「そら」	居宅介護事業 行動援護事業 移動支援事業
◇ホーム事業所「そら」	共同生活援助事業 ひいらぎホーム 若草ホーム 池之分ホーム ひまわりホーム はんつきホーム みのてホーム よしかわホーム くすのきホーム

次項以下、評価の説明	○ … 実施	△ … 実施したが課題を残す
	— … 中止	× … 未実施

法人本部事業

【重点事項】

① 新たな基準での虐待防止委員会の機能的な運営。	
規程を整備し、事業所単位で委員会を設置し運営を開始した。	○
② 職員意識調査結果から見えた課題に対する取り組み。	
課題に対し、PTを組織して改善への取り組みを実施した。	○
③ 制度・法律に対する理解を深める。	
改正された育児・介護休業に関する制度、インボイス制度への理解を深めた。	○

法人名	代表者名	認可年月日	登記年月日
社会福祉法人大府福祉会	理事長 下村庄平	1985年1月9日	1985年1月25日
住所	〒474-0011 大府市横根町名高山78番地2 電話0562(85)5228 FAX0562(85)5229		
メールアドレス	obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp		
ホームページ	http://www.obufukushikai.com		

事業の内容		開催	摘要	評価	
会議の開催	評議員会 現員7名	6名出席 4名出席 6名出席	6月14日 12月9日 3月29日	令和3年度事業報告・収支決算等 令和4年度収支補正予算 令和5年度事業計画・収支予算等	○
	理事会 現員6名	6名出席 6名出席 4名出席	5月31日 11月24日 3月20日	令和3年度事業報告・収支決算等 補正予算・規程の改定等 令和5年度事業計画・収支予算等	○
	評議員選任・ 解任委員会	4名出席 4名出席	11月29日 3月23日	評議員の選任を行う	○
	監事監査 監事2名	1名出席 1名出席	5月19日 5月19日	令和3年度事業監査 指摘無し 令和3年度会計監査 指摘無し	○
	管理者会議	9名出席	年間20回	事業の経営・運営の協議等	○
	副管理者・ リーダー会議	7名出席	年間6回	事業所の情報交換・調整等	○
	全事業所合同職員会議		3月7日	出向職員状況報告(リモートで実施) 事業所報告	○
委員会の開催	苦情解決会議		10月13日	第三者委員に令和3年度状況を報告	○
	第4期中長期総合計画 策定推進委員会		3月20日	第4期中長期総合計画の5年目(令和4年度)の評価	○
	計画策定部会		3月8日	中長期計画の進捗確認・次年度確認	○
	新事業部会		年間8回	新事業に関する計画の検討	○
	人材育成部会		年間11回	人材育成に関する計画の検討	○
	地域・広報部会		年間8回	地域・広報に関する計画の検討	○

法人主催 職員研修 の実施	段階別研修		年間8回	法人内の同段階の職員同士が、必要とされる学習を互いが良い刺激の中で受けて切磋琢磨し、法人全体の底上をはかる	○
	職種別研修	事務員	11月22日	育児・介護休業法について	○
	全体研修		8月12日 6月3日 7月22日	法人内実践発表会（リモート実施） 高齢知的障害者支援（リモート実施） 虐待防止研修（リモート実施）	○
	法人事例検討会		年間6回	法人内各事業所の支援事例について 情報共有し検討した	○
	内定者交流会		適時	新卒内定者向けに2回実施	○
人事	人材の確保		適時	必要に応じた職員採用を行う	○
情報の 公開	ホームページの公開		通年	適時に更新	○
	機関紙の発行		年2回	関係者、公共施設に発行 1050部	○
	広報パネルの展示		適時	市内イベント15か所に掲示	○
法人独自の サービス	緊急時の一時預かり		緊急時	施設利用者 延べ9件に対応	○
	送迎サービス		通年	施設利用者 71人利用	○
募 金	募金箱の設置		通年	市内外の店舗や施設40か所に募金箱を設置	○
財 務	法人経営計画の運用		通年	目標を達成することができた	○
相談会	第三者委員との相談会		10月13日	利用者・家族 3名の相談	○
啓 発	市民向け勉強会の開催		3月10日	障がい福祉をテーマに開催	○
	各種体験会の実施		適時	コロナの影響で中止した事業がある	△

大府福社会中長期総合計画 5年目の評価

[令和4年度の実施内容]

1. 新たな福祉サービスの展開

(1)必要な福祉サービスの構築	内 容		評 価	
①必要な事業の整備	新規事業(暮らしの場)の創出	調査・検討	ニーズに基づき他法人のGHを視察、事業形態・方法等を検討した	○
	大府市発達支援センターみのりの受託運営	継続	みのりの受託運営を継続した	○
	既存事業(日中活動や暮らしの場)の量的拡大(定員問題)	調査・検討	今後の見込を調査し受入方法を検討。事業所の定員増を計画する	○

(2)事業運営の強化	内 容		評 価	
①事業運営の強化	高齢化する利用者への支援	実施	昨年度見直した内容で、今年度も認知症判別チェック等を実施	○
	虐待防止に関する取り組み	実施	各事業所で虐待防止委員会開催。虐待防止マニュアルを改訂など	○
②利用者の安心・安全の保障	災害発生時の備え	充実	施設のBCP作成、ひだまりが自治区と連携し避難訓練を実施など	○
	施設及び設備等の大規模修繕	検討・準備	ほぼ計画通り修繕を実施。更にひだまり来年度分も前倒しで実施	○
	車両の管理体制の構築	継続	入替車両候補を提案したが助成当たらず未実施。今後予算化を提案	△

2. 人材の確保・育成

(1)人材の確保	内 容		評 価	
①必要な人材の確保	法定外福利厚生への取り組み	継続	引き続き幅広い国家資格保持者に手当てを充実させることができた	○
	効果的な方法での求人活動	見直し	コストの低い就職セミナーに精力的に出展するようにした	○
	中高生に向けての発信	見直し	若手職員の講師を増やし、内容も見直すことができた	○

(2)人材の育成	内 容		評 価	
①人材の育成	法人研修の実施	継続	法人全体の実情に応じ選択できる内容も盛り込んだ研修を実施した	○
	キャリアビジョン作りの取り組み	実施	新人事制度に対応したキャリアビジョン図を作成し活用している	○
②人事制度の導入	教育制度の導入	継続	業務習得に向けて面談やOJTにより教育することができた	○
	給与制度の導入	継続	新給与制度を引き続き実施できた	○
	人事制度の効果的な運用	継続	新人事制度ガイドブックの活用で制度を広く周知できた	○

(3)はたらきやすい職場	内 容		評 価	
①労働環境の改善	意識調査から見えてきた課題の改善	実施	課題の改善に向けたPTを立ち上げ具体策を提案することができた	○
	生き生きと働ける法人に向けた取り組み	継続	有給取得、時間外労働のさらなる改善をすることができた	○
	ハラスメントの予防	継続	外部講師を招いた研修で、理解を深めることができた	○
	メンタルヘルス対策	充実	研修で理解を深めることができたが充実と言える結果は出なかった	△

3. 地域とのつながりの充実

(1)地域貢献	内 容		評 価	
①地域への貢献活動	地域の課題とニーズに合った活動	充実	貸館機能は継続し、小学生向け体験会を再開した	○
	市民向け勉強会の発展	実施	今年度より法人事業に位置付け、3事業所合同で初めて実施した	○

(2)地域交流	内 容		評 価	
①地域行事への参加や市民との交流	地域イベントの実施	継続	コロナ禍で中止になっていたイベントを再開した	○
	招待行事の積極的な参加	継続	招待行事や公民館まつり等に積極的に参加した	○

(3)広報活動	内 容		評 価	
①広報機能の充実	機関紙のあり方	継続	年2回の発行、配布先の見直しを行った	○
	広報活動にかかる媒体のあり方	実施	SNSの在り方、ホームページの充実に向けて検討した	○
	企業・商店等と協力関係による広報	実施	「まちなかパラアートおおぶ」等、新たな取り組みに参加した	△

あけび苑

【重点事項】

①	生活班・就労班ともに作業収入の、更なる改善を目指し、今よりも多い給料支給を目指す。 生活・就労班ともにボーナスを2回支払い、さらに就労班はR5年度に時給増を行える。	○
②	利用者への接遇・権利擁護と虐待防止に向けて、研修をはじめとした取り組みを行う。 常勤職員・パート職員に対して、利用者への接遇研修と虐待防止研修を実施した。	○
③	37年経過した建物の照明工事をするとともに、施設内の整理整頓などの環境改善を図る。 計画通り照明工事を実施した。また廊下の作業物等の整理整頓にも心がけた。	○

《生活介護事業》利用定員：28名

利用者一人ひとりの障がい特性と個性を配慮し、ニーズを大切に、個々に応じた環境の中で適したプログラムを提供します。

《就労継続支援B型事業》利用定員：12名

利用者の個性やニーズを大切に、一人ひとりに応じた環境の中で、労働を通して自己の力を発揮し、やりがいを持って働けるように支援します。

【利用者実績】

(上段：生活介護事業 下段：就労継続支援B型事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
開所日	21	22	22	20	20	21	20	22	20	18	20	23
延人数	594	591	612	551	536	593	560	617	554	487	565	646
契約者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
開所日	21	22	22	20	20	21	20	22	20	18	20	23
延人数	247	250	272	242	230	244	243	261	231	198	241	281

【職員配置】

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者（常勤兼務1名） 看護師（非常勤1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名） 嘱託医（非常勤1名） 用務員（非常勤1名）
生活支援員（常勤8名、非常勤8名）	職業指導員（常勤1名）、生活支援員（非常勤1名） 目標工賃達成指導員（常勤1名）

【日課】

8:30 9:15 10:30 12:00 13:15 15:00 15:15 16:00

生活介護	着替え	朝礼	作業散歩	作業納品	食事休憩	班活動	掃除	着替え終礼	
就労継続	着替え	作業			食事休憩	作業	掃除・終礼 着替え		
		9:00			12:15 13:15		15:30 16:00		

【就労支援事業実績】

○生活介護事業

収 入		支 出	
下請作業	1,624,023	給料	1,207,250
雑収入（預金利息等）	21	材料費・光熱水費等	255,160
		手数料・消費税等	63,524
収入合計	1,624,044	支出合計	1,525,934
		当期収支差額	98,110

○就労継続支援B型事業

収 入		支 出	
下請作業	3,724,223	給料	2,720,330
委託業務	356,999	材料費・光熱水費等	251,733
雑収入（預金利息等）	124	手数料・消費税等	138,541
		積立金	800,000
収入合計	4,081,346	支出合計	3,910,604
		当期収支差額	170,742

【取引先】

- | | | |
|-----------------|-------------|----------------|
| ○中央容器株式会社 | ○タツミ化成株式会社 | ○あいちリネン |
| ○トーエイ株式会社 | ○幸伸株式会社 | ○株式会社マツミヤケミカル |
| ○柏木産業株式会社 | ○フジイ化工株式会社 | ○銀の皿大府店 |
| ○株式会社ダイコーゴム | ○株式会社花井養鶏場 | ○株式会社吉見製作所 |
| ○大府ロータリークラブ | ○有限会社矢田化学工業 | ○株式会社SKM(コラビア) |
| ○株式会社伊藤スプリング製作所 | | |

【主な事業の実施内容】

○全体事業

大項目	小項目	時期	摘要	評価
行事	石ヶ瀬コミリンピック	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
	福祉・健康フェア	9月25日	コロナウィルス感染対策で縮小開催	○
	成人式	1月13日	利用者3名の成人を祝う	○
安全確認	総合防災訓練	3月20日	避難訓練・通報訓練・水消火器体験	○
健康管理	健康診断	6月28日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月6日	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種	○
研修	職員研修	通年	年間5回実施	○
	パート職員研修	適時	年間4回実施	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	各種会議を適時に開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7月11日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	行事食、通常食	通年	嗜好・栄養・衛生等に留意し実施	○

家族への 支援	緊急時の支援	随 時	緊急時に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	第2木曜日	コロナウィルス感染予防で5回中止	○
	父親・兄弟研修	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
招 待	福祉コンサート等	9月2日	名フィルコンサート招待(刈谷)	○

○事業別事業

大項目	小 項 目	時 期	生活介護事業		就労継続支援B型事業	
			摘 要	評価	摘 要	評価
作業活動	下請け作業	通 年	前年度同等	○	前年度比で増	○
就労支援		—		—	希望者なし	—
療育活動	各種体操	月2回		○		—
	音楽療法	第1火曜日		○		—
	絵画・創作活動	第4水曜日		○		—
宿泊実習		—	コロナで中止	—	コロナで中止	—
行事 その他	アダプトプログラム	通 年	公園美化	○		—
	一泊旅行	—	コロナで中止	—	コロナで中止	—
	日帰り旅行(生)	7/4, 6, 7, 8	蒲郡	○		—
	おまかせ外出(就)	7/12, 14, 15		—	名古屋市他	○
	カフェ会(生)	2月	班単位で実施	△		—
	レストラン会(生)	3/8, 9, 15, 16	東海市	○		—
	お疲れさま会(就)	3/22, 30		—	大府市	○
	勉強会(就)	3/17, 23		—	あけびの実	○

東あけび苑

【重点事項】

①	4月より新利用者4人が利用開始となる。新利用者と在苑利用者に安定した日課を提供できるように環境づくりに配慮していく。	
	各班毎に、新利用者、在苑利用者に対し環境整備を行い、安定した日課を提供できた。	○
②	新作業開始にともない、苑内で班毎に作業バランスを考慮して担当作業を決定していく。班毎の目的に沿った日課の組み立てができるよう取り組んでいく。	
	作業内容について見直しや検討を行い、各班毎に適した作業の整理ができた。	○

《生活介護事業》 利用定員30名

利用者の長所に着眼し、個々に応じたグループの中でニーズを大切にしたい支援プログラムを提供し、より楽しく充実した日中活動ができるように支援します。

《就労継続支援B型事業》 利用定員10名

日々の作業活動を通じ、地域社会の一員として誇りを持って暮らしていけるように支援します。

【利用者実績】

(上段：生活介護事業 下段：就労継続支援B型事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	30	30	29	29	29	29	28	28	28	28	28	28
開所日	21	22	22	20	20	21	20	22	20	18	20	23
延人数	557	557	601	539	533	555	552	583	546	461	497	620
契約者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
開所日	21	22	22	20	20	21	20	22	20	18	20	23
延人数	186	187	197	177	164	173	175	189	175	148	169	189

【職員配置】

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者（常勤兼務1名） 調理員（非常勤2名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名） 看護師（非常勤兼務1名）
生活支援員（常勤6名、非常勤4名）	職業指導員（常勤1名） 目標工賃達成指導員（常勤1名） 生活支援員（非常勤1名）

【日課】

	9:00	10:30	10:40	12:00	13:00	14:30	14:45	15:30	16:00
生活介護	朝礼・作業療育他	休憩	作業療育他	昼食休憩	作業療育他	休憩	療育他	掃除	帰宅
就労継続	朝礼作業	休憩	作業	昼食休憩	作業	休憩	作業	終礼	
	9:00	10:30	10:40	12:10	13:10	14:30	14:45	15:30	16:00

○生活介護事業

収 入		支 出	
下請作業	1,540,394	給料	1,185,400
雑収入（預金利息等）	114	材料費・光熱水費等	254,995
		手数料・消費税等	64,449
収入合計	1,540,508	支出合計	1,504,844
		当期収支差額	35,664

○就労継続支援B型事業

収 入		支 出	
下請作業	3,990,416	給料	1,774,650
雑収入（預金利息等）	35	材料費・光熱水費等	174,363
		手数料・消費税等	132,771
収入合計	3,990,451	作業指導員給与	1,945,048
		支出合計	4,026,832
		当期収支差額	-36,381

【取引先】

- 株式会社松尾製作所 ○株式会社カワグチ ○タツミ化成株式会社 ○株式会社型善
 ○大府市地域婦人団体連絡協議会 ○株式会社ダイコーゴム
 ○有限会社矢田化学工業 ○有限会社ふじや酒店 ○アド株式会社
 ○株式会社伊藤スプリング製作所 ○タッチ（株式会社エイト）

【居室確保事業実績】 0件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
作業活動	下請け軽作業	通 年	年間を通じ、比較的安定した作業活動を実施	○
	受注・委託作業等		作業の特徴を踏まえ、受注を調整して実施	○
就労支援		—	希望者なし	—
療育活動	リフレッシュ活動	適 時	散歩・運動・創作活動などを実施	○
	音楽療法・体操	通 年	専門講師を招き、定期的に実施	○
親 睦	歓迎会	4月14日	新職員、新利用者との交流のみ実施 コロナ対策として会食は家族の参加なし	○
	一泊旅行	—	コロナウイルス感染予防で中止	—
	日帰り旅行	11月 12月	少人数のグループ化をし、感染症対策にも十分に配慮した上で実施した	○
社会生活 学 習	避難訓練	年4回	火災・地震を想定し、訓練を実施	○
	総合防災訓練	11月15日	避難訓練・消火器体験	○
	宿泊実習	6月～7月	自宅外で宿泊できる力を高めるとともに、 個々の生活力を高める	○
	交通安全対策	5月～6月	事故防止のため同行指導等により実施	○
地域啓発 ・	北山区民運動会	—	コロナウイルス感染予防で中止 北山公民館祭りのみ、パネル展示で参加	—
	北山夏祭り	—		—
	北山公民館祭り	9月10日		○

地域交流	共和東保育園との交流会	—	コロナウィルス感染予防で中止	—
	東あけび苑 フェスタ	11月6日	餅の配布、フリーマーケットの企画等で一般市民を招き相互理解を深める	○
	芸能祭	8月	地域のボランティアを招いて実施	○
健康管理	健康診断	7月5日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月6日	市内歯科医師会の協力により実施	○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種	○
職員研修	内部研修	通年・適時	法人内研修会・苑内自主勉強会等を実施	○
	外部研修	通年・随時	県福祉協会・県社会福祉協議会等関係団体により企画・開催される研修会に参加	○
職員会議	定例会議	毎週火曜日	事業の検討・情報共有を目的に毎週実施	○
	個別支援計画会議 ケース会議等	適時・通年	支援の考察に係る様々な意見提供・検討を目的として開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束 適正化検討委員会	7月7日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	行事食・通常食	通年	嗜好・栄養・衛生等に留意し、実施	○
家族への 支援	緊急時の支援	随時	家族の緊急時に一時預かりを実施	○
	家族会の開催	第2木曜日	家族同士・職員と家族が相談・協議	○
	個別面談	適時	生活と利用意向の把握を目的として実施	○
	家族会研修会	—	コロナウィルス感染拡大により中止	—

ひだまり

【重点事項】

① サービス評価の第三者評価の受審に向けて準備を進める。	
第三者評価の受審に準備を進め12月に受審することができた。 結果は真摯に受け止め、翌年度以降で計画的にサービスの質の向上に努めていく。	○
② 利用者の状態に合った食事となるように、給食の見直しを行う。	
給食業者に昼食提供現状を伝えた上で、利用者の嗜好や体調面に配慮した食事提供が可能か調査を行った。今後は必要に応じて食事提供方法を変更していく。	○

《生活介護事業》利用定員20名

知的に障がいのある方の加齢に伴う様々な課題（作業の質や量・生活のリズムや健康維持・対人関係・生きがい等）に対応することを目的とし、各人の状態にふさわしい活動を行い、生きがいを得る事が出来るよう配慮し、働きかける。

また、社会の構成員として地域の中で様々な資源を利用し、市民と関わり合いながら、そして安心して暮らせるよう、地域社会への働きかけをする。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	19	20	20	20	19	19	19	19	19	20	20	19
開所日	21	22	22	20	20	21	20	22	20	18	20	23
延人数	366	409	399	350	350	376	349	389	356	322	360	377

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） サービス管理責任者（常勤兼務1名）
生活支援員（常勤4名、非常勤4名） 看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

【日課】

8:30	10:00	10:30	11:40	12:00	13:00	15:00	15:30
送迎 身支度	朝礼 散歩 体操	諸活動	口腔 体操	昼食 休憩	諸活動	休憩 身支度 終礼	送迎

【就労支援事業実績】

収 入		支 出	
下請作業	360,232	給料	141,600
雑収入（預金利息等）	7	材料費・光熱水費等	210,402
自主製品	3,100	手数料・消費税等	12,108
		積立金	0
収入合計	363,339	支出合計	364,110
		当期収支差額	-771

【取引先】

○トーエイ株式会社 ○愛三工業株式会社

【居室確保事業実績】 0件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時 期	摘 要		評 価
作業活動	下請け軽作業	通 年	ウエスの裁断		○
	自主製品等 その他	適 時	石鹸づくり		○
			あけびの実クッキーの配達		○
		通 年	自動販売機管理		○
諸活動	健康維持活動	通 年	介護予防体操・散歩		○
	社会的活動	通 年	買い物・喫茶・公共施設利用		○
	文化的活動	通 年	創作・絵画・音楽		○
行事活動	歓迎会	4月15日	室内で新利用者、新職員を囲んで食事と歓迎会をコロナ感染対策を考慮しながら実施した		○
	新年会	—	コロナウィルス感染予防で中止		—
	日帰り旅行	10月31日 11月7日 10日・11日	レトロ電車館 豊明消防署	親睦と見聞を深め、心身のリフレッシュを目的とする。グループごとに実施	○
	お楽しみ会 交流会	12月13日	ボランティアによる楽器演奏等の芸能を楽しむ		○
	喫茶会	3月29日	コロナウィルス 予防のためひだ まり内で開催	親睦を深め、心身のリフレッシュを目的とするとともに、地域資源の活用体験の機会として実施	○
	誕生日会	第3木曜日	誕生日を迎えた利用者のお祝いを実施		○
健康管理	健康診断	6月21日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施		○
	歯科検診	10月6日	市内の歯科医師会の協力による歯科検診を実施		○
	各種予防接種	随 時	予防接種を希望者が接種		○
	検温・血圧 体重測定	適 時	定期的に測定し、健康状態の把握に役立てる		○
危機管理	避難訓練	隔 月	火災・震災時を想定した体験学習を実施		○

研修	職員研修	随 時	内部研修及び外部関係団体等の研修会に参加	○
会議	職員会議	毎週火曜日	事業の検討・利用者支援の考察・検討を実施	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7月4日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	通常食・行事食	通 年	委託業者等と連携し、質・量等健康対策に留意して実施	○
家族支援	緊急時の支援	随 時	今年度はなし	—
	家族会の開催	隔 月	家族同士・職員と家族が相談・報告・協議	○

あけびの実

【重点事項】

① 活動内容を見直し、個々の特性に適した支援を実施する。	
一部の利用者に個別対応の支援を実施し、それぞれに成果を上げた。	○
② 作業製品の販売促進を図り、売上の増加を目指す。	
専門家の支援を受け新商品の開発に取り組み、売上増を達成した。	○

《就労継続支援B型事業》 利用定員：20名

利用者が街で地域社会と関わりながら働くこと、働き賃金を得ることが豊かな生活につながることを、そして自らの将来を考えた自己成長ができるように支援する。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16
開所日	21	23	22	20	20	22	22	22	20	19	20	23
延人数	354	362	371	340	333	350	336	371	339	283	320	365

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） サービス管理責任者（常勤1名） 職業指導員（常勤1名） 生活支援員（非常勤2名） 目標工賃達成指導員（常勤1名・非常勤1名）
--

【日課】

	8:30	9:00	10:30	12:00	13:00	14:30	15:30	16:00
着替え	作業			食事休憩	作業			掃除 終礼 着替え
	作業		出張販売	食事休憩	作業			

【就労支援事業実績】

収入		支出	
下請作業	6,302,779	給料	6,689,170
販売作業	9,113,952	材料費・光熱水費等	6,414,344
雑収入（預金利息等）	69	手数料・消費税等	616,022
		積立金	500,000
収入合計	15,416,800	支出合計	14,219,536
		当期収支差額	1,197,264

【取引先】

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ○株式会社松尾製作所 | ○株式会社豊田自動織機（大府工場・共和工場・長草工場） |
| ○住友重機械工業株式会社 | ○愛三工業株式会社 |
| ○日多加産業株式会社 | ○株式会社オルカレストランシステム（市役所食堂） |
| ○大府東高校 | ○大府市（市内各保育園） |
| ○トーエイ株式会社 | ○株式会社名古屋多田精機 |
| ○おおぶ文化交流の社 | ○株式会社魚初（至学館大学内Yショップ） |
| ○共和保育園 | ○KURUTOおおぶ |
| ○有限会社矢田化学工業 | |

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
作業活動	ベーカリー作業	通年	パン・クッキー・パウンドケーキの製造	○
	組み立て作業		自動車部品の簡易な下請け軽作業	○
販売活動	店頭・出張・委託販売	通年	店頭及び様々な事業所、催し先での販売 コロナウィルス感染予防のため一部中止	△
就労支援	一般企業就労支援	—	希望者なし	—
行事	親睦旅行	—	コロナウィルス感染予防のため中止	—
	日帰り旅行	6月17日 7月1日 11月25日	あいち航空ミュージアム ラゲーナテンボス 吉良温泉	○
	忘年会	12月28日	施設内でテイクアウトの料理を楽しみながら、1年を振り返り親睦と作業意識を深めた	○
	成人式	1月13日	利用者1名の成人を祝う	○
	フリープランレク	随時 5月2日 5月4日	施設内で映画鑑賞、近隣公園散歩等 ボーリング大会 施設内で調理会（お好み焼き作り）	○
招待	福祉コンサート	—	コロナウィルス感染予防のため不参加	—
健康管理	健康診断	6月29日	共和病院にて健康状態を検査する	○
	歯科検診	10月6日	歯科医師会の協力を得て希望者が検診	○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種	○
	検便	2回実施	食品製造従事者に義務付けられている検便を 全員年2回実施する	○
研修	職員研修	通年	法人内部研修・外部関係研修に適時参加	○
	利用者研修	2月23日	職員が講師となり「携帯電話・インターネット利用」について学ぶ	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	1年を通して各種の会議を適時に開催	○

虐待防止	虐待防止・身体拘束 適正化検討委員会	7月14日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	通常給食・自由昼食	通年	出張販売に行った後は自由給食として近隣の飲食店やテイクアウト食を楽しむ	○
社会貢献	貸館	随時	店舗スペースを市民活動団体に貸し出す 市民活動団体が月1回程度利用する	○
安全確認	総合防災訓練	11月15日	消火器使用訓練や消防署員による講話を聴く 東あけび苑と合同開催	○
	避難訓練	9月27日	火災・震災時を想定した避難訓練や避難場所の確認、非常食の体験を行う	○
家族支援	緊急時の支援	随時	緊急時に家庭で介助できない際に一時的に預かる。今年度要請なし	○
	家族会の開催	4・9・1月	家族同士の相談、事業所からの報告、協議する場として、適時開催する	○
	家族会研修会	—	コロナウィルス感染予防で中止	—

たくと大府

【重点事項】

《生活介護事業》

① コロナ禍でも季節を感じながら、楽しめる施設内のイベントの充実を図る。	
おかしバイキングはじめ、施設内のプログラムを充実させることができた。	○
② 連絡ツールの整備を行い、スケジュールや予定、連絡事項が正しく伝わるように配慮する。	
職員全員が確認しやすい連絡ボードの設置など報連相の質を向上させることができた。	○

《日中一時支援事業》

① 利用者の強みを活かし、自立を促した支援を提供する。	
選択すること、意思表示することを重視した支援を実施することができた。	○
② 研修に積極的に参加し、支援力の向上を図る。	
強度行動障害支援者養成研修の参加など、支援力向上のための研修に参加できた。	○

《生活介護事業》利用定員：30名

地域で暮らしていくことに様々な配慮が必要な方に対し、情緒の安定を第一に考え、安心して過ごせる場所とプログラムを提供します。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
開所日	21	22	22	20	20	21	20	22	20	18	20	23
延人数	578	582	598	547	546	574	550	599	541	476	549	616

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名）
生活支援員（常勤9名、非常勤9名）	看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

【日課】

8:30	9:15	10:30	12:00	13:15	15:00	15:15	16:00
着替え	朝礼	作業 散歩	作業・ 納品等	食事 休憩	自立課題活動 療育活動等	掃除	着替え 終礼

【就労支援事業実績】

収 入		支 出	
下請作業	2,559,724	給料	1,867,500
雑収入（預金利息等）	28	材料費・光熱水費等	198,099
		手数料・消費税等	88,579
		積立金	300,000
収入合計	2,559,752	支出合計	2,454,178
		当期収支差額	105,574

【取引先】

- 株式会社マツミヤケミカル ○株式会社カワグチ ○フジイ化工株式会社
 ○タツミ化成株式会社 ○株式会社松尾製作所

【居室確保事業実績】 2件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	生活介護事業	
			摘要	評価
生産活動	受託作業活動	通年	取引先企業より作業を受託する	○
グループ活動	スリム体操	週1回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	サーキット運動	月2回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	バランスボール運動	月2回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	3B体操	月1回	専門講師に依頼して実施	○
	ミックススポーツ	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	音楽療法	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	絵画活動	月1回	専門講師に依頼して実施	○
	おかしバイキング	月2回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	お茶会	年4回	感染予防のため延期もあった	△
自立課題	自立課題活動	通年	机上で行う自立活動を実施	○
社会生活学習	宿泊実習	—	コロナウイルス感染予防のため中止	—
行事	歓迎会	4月14日	多目的ホールにて開催	○
	鑑賞会	12/2, 9, 16, 20	佐久島ナビステーションに出かける	○
	たくとBBQ	3月3・7日	たくと大府テラスにて開催	○
	たくと大府フェスタ	11月6日	セレクトナ、東あけび苑と同時開催	○
	一泊旅行	—	コロナウイルス感染予防のため中止	—
	レストラン会	2/7, 14, 15, 22	南知多一色荘にて会食	○
	成人式	1月13日	多目的ホールにて開催	○
安全確認	総合防災訓練	3月8日	消火器使用実施訓練等	○
健康管理	健康診断	7月6日	共和病院で尿・血液等の検査を実施	○
	歯科検診	10月6日	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種	○
研修	職員研修	通年	自閉症支援に関する研修を実施	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	一年を通して各種の会議を適時に開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7月7日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	通常給食	通年	栄養バランスの取れた給食を提供	○
家族支援	緊急時の支援	随時	緊急に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	月1回	一年を通して会議を開催	○

《日中一時支援事業》利用定員：10名／日

支援が必要な知的障がい児・者を一時的に預かり、利用者のニーズに応じた活動プログラムを提供し、活動を通して余暇の充実を図ります。また、これらを通して、家族の生活の安定の一助となることを目的とします。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
開所日	12	19	22	20	15	20	20	19	20	18	19	21
延人数	68	126	141	112	74	120	124	122	118	114	122	106

【職員配置】

生活支援員（常勤2名、非常勤5名）

【日課】

15:00	16:00	16:30	17:00	17:40	18:30
送迎	着替え 始まりの会	作業 買物・おやつ	自由時間	送迎	

地域生活支援センター「そら」

【重点事項】

① ヘルパーの確保に向けては、状況を見ながら学生への働きかけを強化していく。	
市民向け勉強会で大学生への働きかけを強化し10名程の学生が参加してくれたが、確保までは至らなかった。各大学への求人活動は行ったものの効果は出なかった。	△
② ホーム利用者の多様化するニーズに対応するため、支援体制を整えていく。	
よしかわエリアの週末夜間体制の強化、はんつきホームの週末体制の強化を行った。	○
③ ホームの体制強化とスタッフの支援力向上のため、世話人だけでなく生活支援員とも個別面談を行う機会を作ったり、必要に応じてOJTを行っていく。	
必要に応じて生活支援員とも面談やOJTを行った。	○

利用者とその家族が地域において安心して生活を送れるように、利用者・家族のニーズを受けて、障がい内容や家庭状況に応じて、居住の場から生活・余暇の支援など地域生活全般にわたり、質の高い細やかなサービスを実施します。また、法人内事業所及び他の関係機関との連携を図りながら必要な支援をします。

ホームヘルプセンター「そら」

【事業の実績】

事業名		年間利用時間	対象者	評価	
障がい福祉サービス	居宅介護事業	家事援助 身体介護 通院等介助	12.0時間 15.0時間 202.0時間	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	○
	行動援護事業	845.5時間	知的障がい者 知的障がい児	○	
地域生活支援事業	移動支援事業	4574.0時間 ※コロナにより減	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	△	
オプション事業	移送サービス	延べ 179人	「そら」利用者	○	
	タイムケア	28.5時間	「そら」利用者	○	

【事業の実施】

事業名	サービス提供日	サービス提供時間
居宅介護事業 行動援護事業 移動支援事業	月曜日から日曜日 ただし8月13日から16日と12月29日から1月4日を除く。	6時から22時

【その他の事業の実施】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
研修	ヘルパー研修	10月/3月	虐待防止とてんかんの研修を行う	○
	講師派遣	—	コロナの影響により実施せず	—

会 議	事務所職員会議	月 1 回	利用者状況把握、事業所内情報交換	○
	虐待防止会議	1 2 月 1 日	虐待予防のための取り組み	○
	ケース会議	随 時	困難事例が発生した場合に適時開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7 月 4 日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○

【職員配置】

職 名	管理者	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	登録ヘルパー
人 数	1 名（兼務）	2 名	4 名	2 1 名

【利用契約者】

所 属	法人利用者	一般成人	学 齡 児
人 数	8 8 名	1 6 名	1 1 名

ホーム事業所「そら」

《共同生活援助事業所》利用定員 4 0 名

【住居の状況】

名 称	事 業	定員	現員	開設年度	所在地
ひいらぎホーム	グループホーム	3 名	2 名	平成 6 年度	吉川町
若草ホーム	グループホーム	5 名	4 名	平成 9 年度	若草町
池之分ホーム	グループホーム	4 名	4 名	平成 1 2 年度	森岡町
ひまわりホーム	グループホーム	6 名	5 名	平成 1 4 年度	横根町
はんつきホーム	グループホーム	1 0 名	1 0 名	平成 1 8 年度	半月町
みのてホーム	グループホーム	5 名	5 名	平成 2 6 年度	横根町
よしかわホーム	グループホーム	4 名	4 名	平成 2 7 年度	吉川町
くすのきホーム	グループホーム	3 名	3 名	平成 2 9 年度	吉川町

【利用者実績】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入居者数	3 6	3 6	3 6	3 8	3 8	3 7	3 7	3 7	3 7	3 7	3 7	3 6
開所日	3 0	3 1	3 0	3 1	3 1	3 0	3 1	3 0	3 1	3 1	2 8	3 1
延人数	882	925	941	919	934	925	941	954	903	873	871	955

【日常的な事業内容】

支 援 内 容	摘 要	評価
入居者への食事の提供	平日の朝夕、週末・祝日の朝昼夕を提供する	○
金 銭 管 理	生活費・家賃の管理	○
健 康 管 理	法人看護師の助言を受けて日中施設と連携して把握	○
日常生活における応談・助言	必要に応じて相談を受け、施設と調整を行う	○
日常生活における介助	介助マニュアルに基づき介助	○
個別支援計画に基づく支援	アセスメントを行い利用ニーズを支援の中心に据える	○

【その他事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
会議	世話人連絡会議	隔月	入居者の情報交換や運営の打ち合わせ	○
	各ホーム定例報告会	隔月	各ホーム世話人が隔月で個別会議	○
	バックアップ職員会議	年3回	各施設とホームとの情報交換	○
	虐待防止会議	12月1日	虐待予防のための取り組み	○
	事務所職員会議	月1回	利用者状況把握、ホーム運営体制構築	○
研修	スタッフ研修会	6月/2月	救命救急と虐待防止の研修を行う	○
	ホームスタッフ 現場実習	7月 12月	新規採用スタッフに対し現場実習を実施	○
	市民向け勉強会	3月10日	市民に障がい福祉について学んでもらう	○
行事	外出行事（週末行事）	年2回	コロナの影響で規模を縮小。開催できないホームもあった	△
	余暇行事（各ホーム）	適時	各ホーム外食や買い物など適時実施	○

【職員配置】

職名	管理者	サービス管理責任者	世話人	生活支援員	看護師
	1名（兼務）	2名	8名	20名	1名（兼務）

大府市発達支援センター みのり

【重点事項】

① 個々の子どもの発達や進路について見通しを持ちながら、継続的な支援を行う。 面談や学校見学等を計画的に行った。	○
② 関係機関や地域との関わりを意識し支援に繋げる 保健師、保育園・学校関係者、他事業所と連絡を取り合い、必要な会議を行った。	○

《児童発達支援事業》 定員 12名/日

就学前の肢体に不自由のある児童や心身の発達が気になる児童が集団生活や地域で成長し、生活していく力を築くことができるようにご家族と一緒に考えながら支援していく。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	19	22	22	22	22	22	25	25	26	26	24	24
開所日	20	19	23	20	22	20	20	20	20	19	19	20
延人数	87	101	118	97	114	117	127	113	101	115	117	119

【職員配置】

管理者（常勤兼務 1名）	児童発達支援管理責任者（常勤兼務 1名）	保育士（常勤 1名）
児童指導員（常勤 1名）	作業療法士（常勤兼務 1名）	看護師（常勤 1名）
管理栄養士（常勤 1名）	調理員（非常勤 1名）	理学療法士（非常勤 3名）
言語聴覚士（非常勤 2名）	臨床心理士（非常勤 1名）	医師（非常勤 2名）

【日課】

9:00 10:00 10:40 11:30 12:30 14:45 15:00 16:00

個別療育	朝の会 ふれあい体操	集団療育	給食	昼寝・個別活動 おやつ	帰りの会	帰宅・個別療育
------	---------------	------	----	----------------	------	---------

【事業内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
集団療育	集団活動	通年	保育士・児童指導員らによる集団活動	○
個別療育	個別機能訓練	通年	理学・作業・言語療法・心理相談	○
健康管理	健康診断	8月・3月	嘱託医が来園し実施	○
	歯科検診	11月10日	嘱託歯科医が来園し実施	○
	嘱託医巡回	通年	内科(小児)医の相談・診察等実施	○
	検温・身体測定	通年	定期的実施し体調や成長を確認	○

式典	卒園・修了式	3月17日	みのり遊戯室にて実施	○
行事	七夕会	7月6・7日	みのり遊戯室にて実施（東あけび苑招待）	○
	遠足	5月17・18・19日	八ツ屋大池公園にて実施	○
	春秋	11月1・2日	大池公園（東海市）にて実施	○
	夏祭り	8月17・18・19日	みのり遊戯室にて実施（きょうだい児）	○
	ハロウィン会	10月31日	みのり遊戯室にて実施（あけび苑招待）	○
	クリスマス会	12月22・23・26日	みのり遊戯室にて実施（きょうだい児）	○
	まめまき会	2月2・3日	みのり遊戯室にて実施	○
	ひなまつり会	3月2・3日	みのり遊戯室にて実施	○
	誕生会	通年	みのり遊戯室にて実施	○
交流	土曜療育	6月4日・10月1日	父親・祖父母参加	○
	保育園交流	11月・12月	東山ガーデニア子ども園にて実施	○
訓練	地域交流	10月20・24・25日	石ヶ瀬・吉田児童老人福祉センターにて実施	○
	非常時対応訓練	毎月	地震・火事・不審者対応 月替わりで実施	○
懇談 家族支援	センター長懇談会	11月・2月	保護者との意見交換等	○
	個別面談	7・11・3月	個別支援計画の作成等で実施	○
研修	職員研修	通年	内部研修及び外部関係団体研修参加	○
保護者研修	卒園児保護者による進路相談会	7月14日	みのり遊戯室にて実施	○
職員会議	定例・ケース会議	通年	児童の支援・運営に関することを協議	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	6月23日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	通常給食	通年	児童に必要な栄養・食事形態を考慮	○

《保育所等訪問支援事業》

地域の保育園等を訪問し、肢体に不自由のある児童や心身の発達に遅れがある児童に対して集団生活に必要な支援を行う。

【利用者実績】

※令和4年度については希望者おらず

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） 作業療法士（常勤兼務1名）	児童発達支援管理責任者（常勤兼務1名）
------------------------------	---------------------

《相談支援事業》 特定相談支援事業 障害児相談支援事業

児童の発達や子育てに関する相談に応じます。また、各種福祉サービスを利用するための計画を立てます。

【利用者実績】

全て障害児相談 特定相談実績なし

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画作成	6	2	2	3	2	0	4	1	2	2	0	1
モニタリング	6	7	5	3	4	7	3	4	7	6	3	3
合計	12	9	7	8	6	7	7	5	9	8	3	4

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名）	相談支援専門員（常勤1名）
-------------	---------------

【事業内容】

支援内容	摘要	評価
生活全般に係る相談	家族からの相談に対応	○
サービスの情報提供	サービス等に関する情報提供	○
計画作成及びモニタリング	利用計画の作成及びモニタリング	○
関係機関との調整	障がい福祉サービス等に係る機関との調整	○

令和4年度リスクマネジメント件数

	ヒヤリハット	事 故	苦 情	身体拘束	虐待調査
あけび苑	7	44	6	7	0
東あけび苑	3	12	2	9	0
ひだまり	4	4	2	0	0
あけびの実	5	21	2	2	0
たくと大府	6	38	3	26	0
ホームヘルプ 「そら」	5	10	5	2	0
ホーム事業所 「そら」	6	15	1	0	0
みのり	56	10	4	0	0
合 計	92	154	24	46	0

令和4年度大府福祉会の総括

法人の運営

【中長期総合計画の推進】

6年間の中長期総合計画において5年目の事業を実施した。一部の事業で取り組み内容が不十分との評価があったが、ほぼ計画通りに進めることができた。

【収支決算と経営計画の推進】

令和4年度は、サービス利用実績が見込んでいたより多かったことと、新たな加算の算定を行った事業所があったため、当初予算で見込んでいた収入に対して増額となった。そのため、今後に備えるための積立金を1,375万円増額することができた。積立金の残高は経営計画で示す目標値の1億円を上回った。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

前年度と同様に感染事例による事業所の閉鎖や事業の中止といった事態が発生したが、各事業所での感染防止やワクチン接種、助成金の有効活用などの対策を行い、コロナ禍の影響をできるだけ抑えた運営を心掛けた。

新たな事業に向けての取り組み

【事業の整備】

新事業の(暮らしの場)の創出では、他法人のグループホームの視察を行い、どのような事業形態で行うかの方向性を検討してきたが、現在の様々な状況を改めて検証した結果、計画を再検討していくことになった。生活介護の定員問題は、たくと大府の定員増を決めたが、その後の利用者の退所や死亡などで、今後の対応について見直しが必要になった。

【事業運営の強化】

高齢化する利用者への支援は昨年度見直した内容を実施した。虐待防止の取り組みも虐待防止委員会の開催と研修を実施、マニュアルの改訂と支援者チェックリストを集計した。

【利用者の安心・安全の保障】

災害時の備えとしてBCPを作成し、東あけび苑とたくと大府に防災倉庫を設置することを決めた。また、ひだまりとして自治区の役員を招いての避難訓練を実施し、連携した避難訓練の実施の足掛かりを作った。各事業所の大規模修繕と公用車の入れ替えについては修繕計画を継続した。

人材育成の取り組み

【意識調査から見えてきた課題の改善】

令和3年度に実施した職員意識調査の結果から見えてきた課題を整理し、プロジェクトチームを作って改善案を作ることができた。メンバーには法人の将来を担う若手職員も多く入り、一般職員の目線で多くの改善案を法人に提案することができた。

【ハラスメントの予防】

昨年度の管理職クラスを対象とした研修に続き、今年度は一般職クラスを対象とした研修を実施することができた。全職員が受講したことで、ハラスメントに対する意識が大きく向上し、予防することができた。

地域に向けての取り組み

【地域への貢献活動】

コロナ禍で中断していた小学生向け体験会の再開、貸館機能の充実、また、法人事業に位置付けた市民向け勉強会を3事業所合同で初めて実施した。

【地域交流】

コロナ禍で中止になっていたイベント、公民館まつり、マルシェ等が再開され、参加依頼のあった行事には積極的に参加した。

【広報機能の充実】

SNS部会を立ち上げ、SNS媒体による情報発信について検討した。また、次年度に法人ホームページの更新をする方向性を決定した。